

三菱ケミカルとそのグループ会社 責任ある鉱物調達方針

私たちは、「革新的なソリューションで、人、社会、そして地球の心地よさが続いていく KAITEKI の実現をリードしていくこと」を Purpose として、企業活動のあらゆる局面において、常に高い倫理観と社会的良識をもって行動します。^{※1}

世界の紛争地域および高リスク地域において、鉱物採掘やその取引から得られる利益は、武装勢力や反政府勢力の資金源となっています。そのような地域の鉱物を使用することは、紛争や人権侵害、環境破壊の助長につながる可能性があります。

私たちは、こうした鉱物問題を重要な社会課題であると認識し、紛争地域および高リスク地域における紛争や人権侵害などへの関与が明らかな鉱物を調達しないことを基本的な考えとして、本方針を策定しました。OECD が定める「紛争地域および高リスク地域からの鉱物の責任あるサプライチェーンのためのデュー・ディリジェンス・ガイダンス」も参考にしながら、本方針に基づき、サプライチェーン全体で持続可能で責任ある鉱物調達推進に取り組みます。

2024 年 4 月 第三版
三菱ケミカルグループ
三菱ケミカル（株）

①社内体制の構築

➤ 鉱物調達における報告・管理体制を構築し、以下の対応を実施します。

②鉱物調査の実施及び対応

- 顧客からの要請に応じて、各種鉱物調査^{※2}を実施します。
- 紛争鉱物（スズ、タンタル、タングステン、金）^{※3}、が製品中に含まれている、またはその製品の製造に必要である場合、コンフリクトフリー精錬業者（CFS Conflict Free Smelter）認証^{※4}を受けた精錬所製のものを使用した原材料、資材を使用するようリスク低減に向けた対応をサプライヤの皆さまへ要請します。
- 調達部門では、サプライヤの皆さまに対して、CSR 調達ガイドラインや CSR アンケートを通じて、本課題の共有と取り組み状況の把握を実施します。^{※5}

③コバルト、天然マイカ、その他高リスク地域（CAHRAs^{※6}）の鉱物調達への対応

- コバルト、天然マイカ等の鉱物を高リスク地域(CAHRAs)から調達している場合、OECD ガイダンス Annex II に記述されているリスク（児童労働を含む人権侵害、資金洗浄等）があります。対象となる鉱物と産出地域に関して、定期的に法規制等の情報を確認し、鉱物調査の範囲を見直します。

脚注

※1 企業行動憲章

<https://www.mcgc.com/group/charter.html>

※2 各種鉱物調査

RMI (Responsible Minerals Initiative) が発行する CMRT、EMRT などによる調査

※3 紛争鉱物

米国金融規制改革法で指定されるスズ、タンタル、タングステン、金の4種。

※4 コンフリクトフリー精錬業者認証

RMI (Responsible Minerals Initiative) の Responsible Minerals Assurance Program(RMAP)で認証された製錬業者 (CFS)

※5 CSR 調達ガイドライン

https://www.mcgc.com/group/outline/mcc/procurement/pdf/csr_guideline.pdf

※6 CAHRAs

紛争地域および高リスク地域(Conflict-Affected and High-Risk Areas)の略語

改訂履歴

2022年12月1日制定

2023年4月1日改訂 (第2版)

2024年4月1日改訂 (第3版)

以上